

令和7年度 学校経営計画

学 校 名 東広島市立御蘭宇小学校

学校長名 石 川 真 紀

I 学校の状況

学級数	21	児童・生徒数	498	教職員数	46
メールアドレス	misonou-sho@city.higashihiroshima.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/misonou_sho/				

II 教育目標

夢を持ち 豊かに生きる子どもを育てる

III 経営理念（ミッション・ビジョン）

『笑顔いっぱいの学校』

○めざす学校像：全児童と全教職員の挨拶が響く学校・子ども達の自主性を育む学校

○めざす児童像：目標をもって挑戦し、自らを伸ばそうとする子

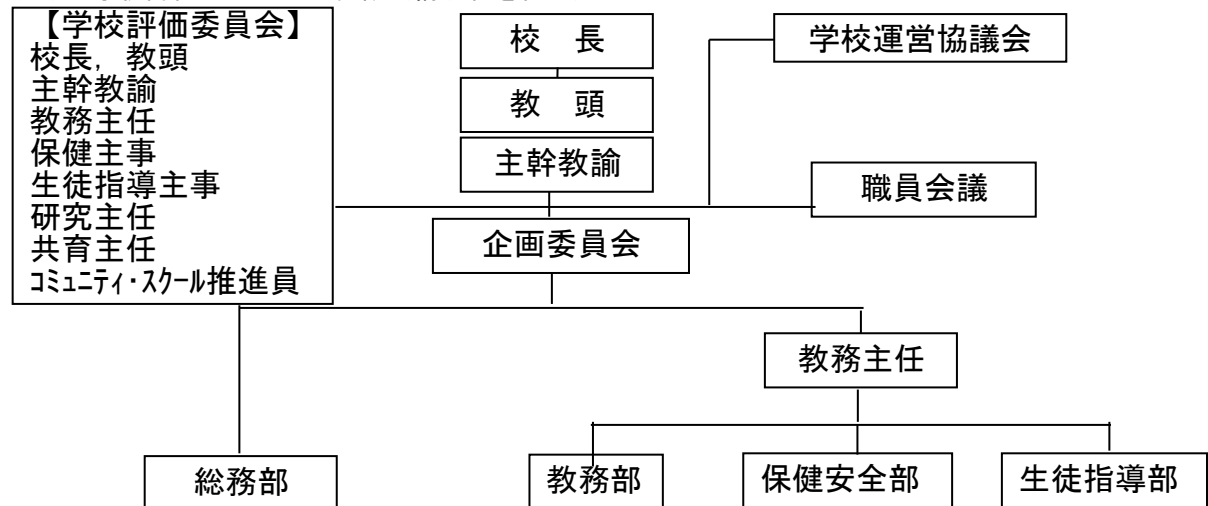
○めざす教師像：児童のやる気を引き出しながら授業改善に取り組む教職員

IV 中期経営目標及び短期経営目標

項目	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目
確かな学力	ゴールの姿を明確にした授業づくりによる学力向上	○ゴールの児童の姿を明確にした授業づくり	・研究協議の視点達成（成果と課題）の明確化 ・あらゆる教育活動における聴くことの徹底 ・ICTの効果的な活用（毎日1回は活用）	・全体研、ブロック研、示範授業における研究協議の視点達成率85% ・単元末テスト（活用型）国・算・理【低88%・中85%・高82%以上】 ・聴いて反応や言葉を返すことができる児童80% ・ICT活用についての目標達成90%
		○ICT活用の日常化 ○パワーアップタイム・モジュールの確実な実施 ○1か月に1冊も本を読まない児童ゼロ	・一斉実施と週案への記入 ・学校司書と連携した読書環境づくり	・パワーアップとモジュールの実施90% ・行事・季節・学習に合わせた各学年図書コーナーの設置や図書の紹介年2回
豊かな心	「楽しい学校はみんなで作る」の具現化	○思いやりのある言葉と行動 ○生活目標の達成 ○報・連・相・確認の徹底による組織的かつ迅速な生徒指導	・命、情報モラル、多様性、特支、日本語、通級等に関わる授業公開と児童理解を促す取組の実施 ・生活目標に対する各学年の取組の見える化と評価 ・児童の情報共有の日常化	・友達のよいところが見つけれられる児童95% ・健康や情報モラルをわきまえたネット活用ができる90% ・主体的な委員会活動の実施90%と生活目標の達成率90% ・組織で生徒指導上の未解決ゼロ
健やかな体	自分の健康や生活に関心を持ち、健康・体力づくりにチャレンジする児童の育成	○挑戦することによる自己成長の実感 ○よい姿勢の保持と食育による健康増進 ○学校安全・危機管理意識と行動力の向上	・体育朝会や体育的行事、授業等の取組の工夫 ・保健指導・食育指導と学級指導をつなぐ ・避難訓練や集団行動等に係る事前指導の徹底	・運動会をやってよかった90% ・運動をして目標に対する振り返りが自分の言葉で表現できる90% ・安心清潔な配膳90%、残菜の減少 ・健康や安全の目標達成90%
開かれた学校・働き甲斐のある学校	コミュニティ・スクールを生かした地域学習の構築 働きやすい職場づくりへの貢献	○地域と関わる学習の充実と発信 ○創作表現「響」の継承 ○明るく活気ある職場づくりによる不祥事防止	・各学年で地域単元を年1回実施し学びを発信 ・みそのうタイムの充実 ・「響」を地域学習の集大成とする生活科や総合的な学習の時間の構築 ・職員同士の挨拶とねぎらい	・地域の人とかわかることが楽しい90% ・学ちゃんノート一人1冊 ・生活科や総合的な学習の時間の実践交流と計画修正 ・服務研修の内容の見える化とパワハラ・セクハラ・情報漏洩等不祥事ゼロ

V 学校評価

(1) 学校評価システムの組織（構成者を含む）



(2) 自己評価及び学校運営協議会の実施計画（公表方法を含む）

月	内 容	備 考
4	学校経営計画策定 ・経営方針 ・教育目標 ・重点項目 評価項目・評価基準の設定 年間を通して行事毎のアンケートを実施 自己評価 学校運営協議会評価 保護者・児童アンケート 中間評価と改善 自己評価 学校運営協議会評価 年間評価 成果と課題 改善方策の検討 次年度の評価計画の検討 次年度の学校経営計画の作成	・学校運営協議会 ・保護者への説明 ・ホームページによる公表 ・学校運営協議会 ・保護者への説明 ・ホームページによる公表 ・学校運営協議会 ・保護者への説明 ・ホームページによる公表
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
1		
2		
3		